

令和7年度第11回ヨコハマeアンケート

医療の知識に関するアンケート

実施期間 令和7年8月29日（金）から9月8日（月）

事業所管課 医療局 医療安全課

回答者数 1,481人（回答率：29.2%）

【参考】eアンケートメンバー数 5,064人（8月29日時点）

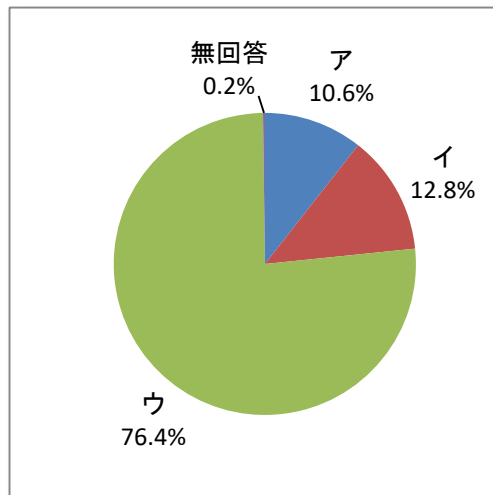
年代別、横浜市内在住・在勤・在学別の回答者構成比

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	計
横浜市内在住	4 (0.3%)	16 (1.0%)	95 (6.4%)	205 (13.8%)	403 (27.2%)	432 (29.2%)	315 (21.3%)	1,470 (99.2%)
横浜市内在勤	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	3 (0.2%)	4 (0.3%)	2 (0.1%)	1 (0.1%)	11 (0.8%)
横浜市内在学	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
計	4 (0.3%)	16 (1.0%)	96 (6.5%)	208 (14.0%)	407 (27.5%)	434 (29.3%)	316 (21.4%)	1,481 (100.0%)

Q1 「選定療養費」について知っていましたか？ （単一選択）

n = 1,481

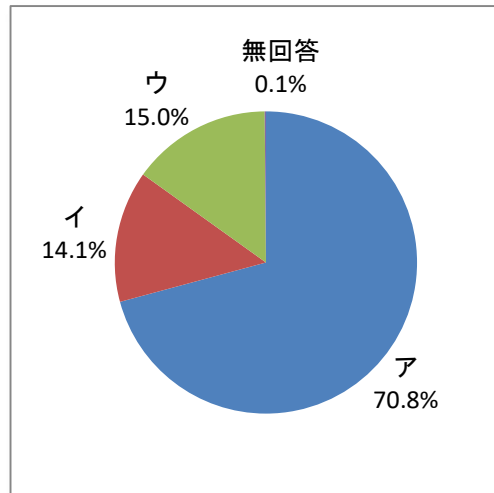
ア	知っていた	10.6%	157
イ	聞いたことがある	12.8%	189
ウ	知らなかった	76.4%	1,132
無回答		0.2%	3
		100.0%	1,481



Q2 200床以上の病院に紹介状を持たずに初診で受診すると、紹介状がある場合に比べ、患者が自己負担する費用が多くかかることを知っていましたか？
(単一選択)

n = 1,481

ア	知っていた	70.8%	1,049
イ	聞いたことがある	14.1%	208
ウ	知らなかった	15.0%	222
無回答		0.1%	2
		100.0%	1,481

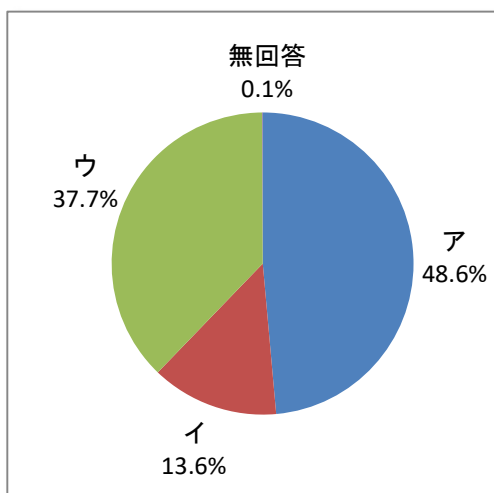


Q3 救急外来で処方される薬は、緊急時における応急処置を目的としているため、原則として通常診療が始まるまでの日数分のみ処方されることを知っていましたか？

【参考】
救急外来: 夜間や休日など病院や診療所の診療時間外に、急な体調不良や事故等で受傷したときに受診するところです。
(単一選択)

n = 1,481

ア	知っていた	48.6%	719
イ	聞いたことがある	13.6%	202
ウ	知らなかった	37.7%	559
無回答		0.1%	1
		100.0%	1,481



Q4 「高度急性期・急性期病院」「回復期病院」「慢性期病院」というように医療機関ごとに役割分担し、連携して医療を提供する「病院の機能分担」について知っていましたか？

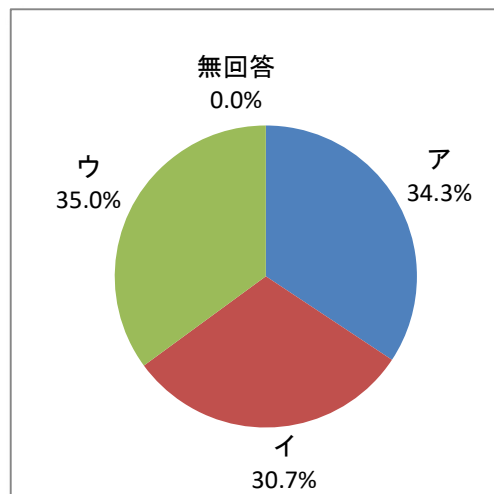
【参考】「医療機関の役割分担について」(横浜市)

https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/iryo/shinai/iryokikan_yakuwari.html

(単一選択)

n = 1,481

ア	知っていた	34.3%	508
イ	聞いたことがある	30.7%	454
ウ	知らなかった	35.0%	519
無回答		0.0%	0
		100.0%	1,481



Q5 救急車を呼ぶべきかどうか迷ったときに、相談できる電話番号「#7119」について知っていましたか？

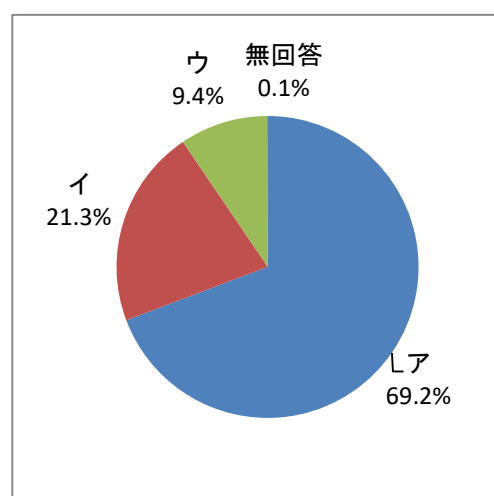
【参考】かながわ救急相談センター(#7119) (神奈川県)

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/t3u/kksc7119.html>

(単一選択)

n = 1,481

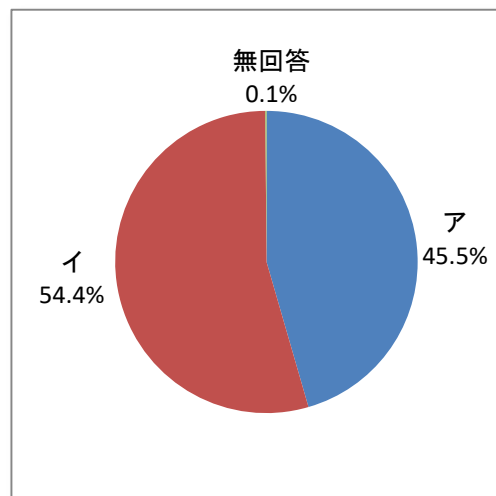
ア	知っていた	69.2%	1,025
イ	聞いたことがある	21.3%	315
ウ	知らなかった	9.4%	140
無回答		0.1%	1
		100.0%	1,481



Q6 もしも重い病気やけがで自分の気持ちを伝えられなくなったときに備えて、「どんな医療やケアを望むか」を考えたことはありますか？
(単一選択)

n = 1,481

ア	考えたことがある(Q7へ)	45.5%	674
イ	考えたことがない(Q8へ)	54.4%	805
無回答		0.1%	2
		100.0%	1,481



Q7 Q6で「ア 考えたことがある」と回答された方にお聞きます。
「どんな医療やケアを望むか」を記録するために、何かツールや資料を使いましたか？

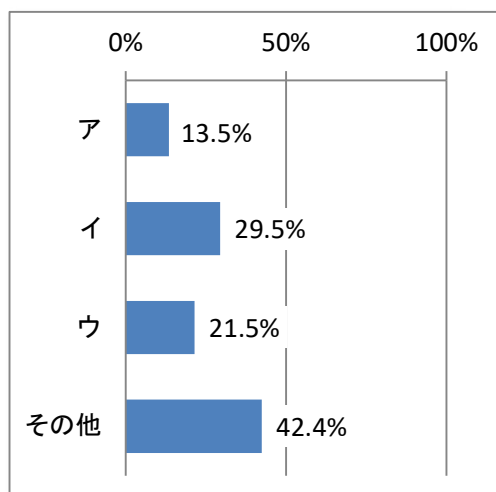
【参考】医療・ケアについての「もしも手帳」(横浜市)

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/iryo/zaitaku/acp/moshimo2021.html>

(複数選択可)

n = 674

ア	もしも手帳	13.5%	91
イ	エンディングノート	29.5%	199
ウ	スマートフォンのメモ機能	21.5%	145
その他		42.4%	286



その他(抜粋)

考えたことはあるが、具体的に検討したことはない。

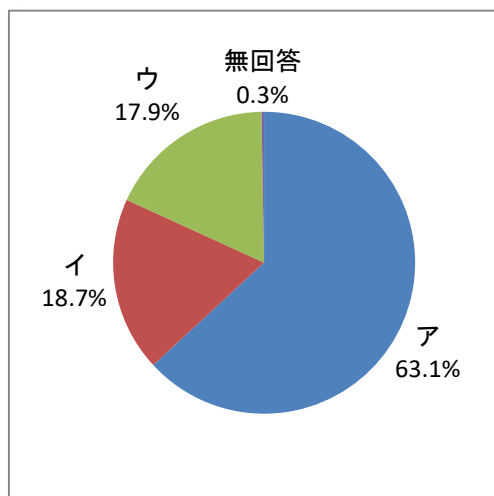
手帳、日記帳、裏紙

家族に口頭で伝える。

**Q8 「セカンドオピニオン」と「転院」の違いについて知っていましたか？
(単一選択)**

n = 1,481

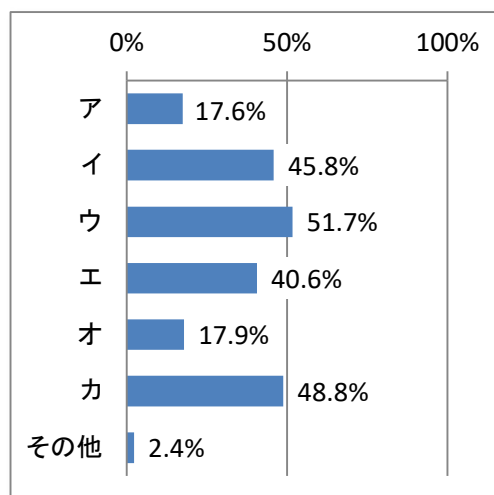
ア	知っていた	63.1%	935
イ	聞いたことがある	18.7%	277
ウ	知らなかった	17.9%	265
無回答		0.3%	4
		100.0%	1,481



**Q9 医師の診断や治療方針に不安を感じたとき、どのような行動を取りますか？
(複数選択可)**

n = 1,481

ア	医療に関しては医師に任せているので、医師の治療方針に従う	17.6%	260
イ	他の医師に意見を聞く	45.8%	679
ウ	医療機関を変える	51.7%	766
エ	医師に再度説明を求める	40.6%	601
オ	病院の患者相談窓口で医療ソーシャルワーカーに相談する	17.9%	265
カ	インターネットで似た症例を探して、自分なりに判断する	48.8%	723
その他		2.4%	35



その他(抜粋)

身近な人に相談する。

保険会社や健康保険組合に電話などで相談する。

Q10 かかりつけ医を持っていますか？

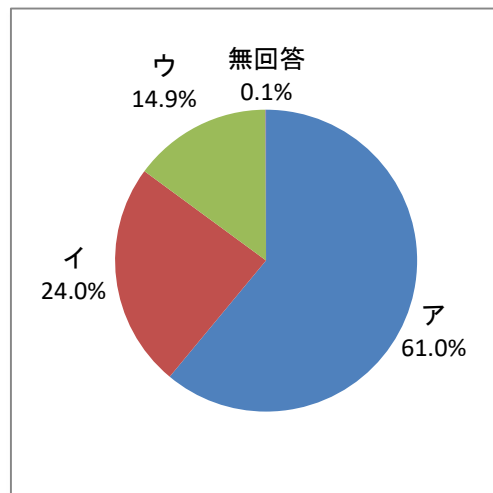
【参考】かかりつけ医を持ちましょう(神奈川県)

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/f6z/cnt/f532124/index.html>

(単一選択)

n = 1,481

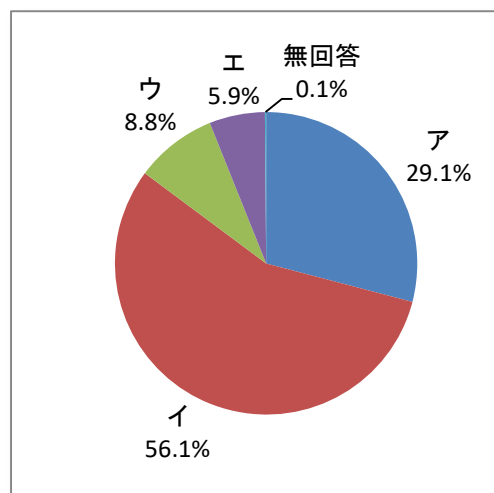
ア	はい	61.0%	904
イ	いいえ	24.0%	356
ウ	よくわからない(かかりつけ医の定義がよくわからない等)	14.9%	220
無回答		0.1%	1
		100.0%	1,481



Q11 お薬手帳を医療機関に持参していますか？
(単一選択)

n = 1,481

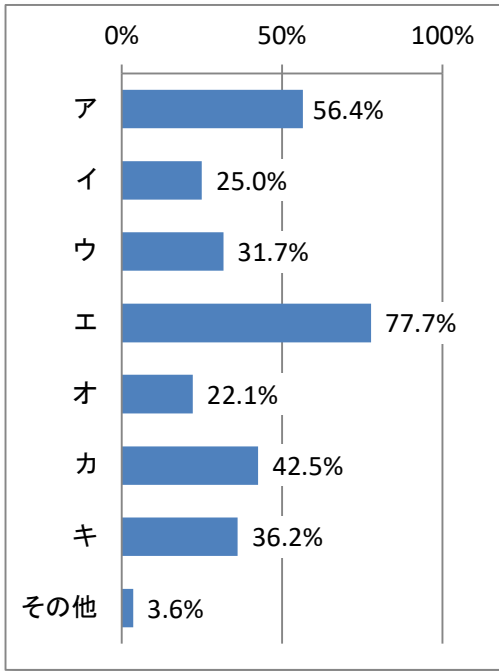
ア	常に携帯している	29.1%	431
イ	医療機関に行くときのみに持参している	56.1%	830
ウ	持っているが持参していない	8.8%	130
エ	持っていない	5.9%	88
無回答		0.1%	2
		100.0%	1,481



**Q12 健康や医療に関する情報は、主にどこから得ていますか？
(複数選択可)**

n = 1,481

ア	テレビ	56.4%	836
イ	本	25.0%	370
ウ	新聞	31.7%	470
エ	ウェブページ	77.7%	1,151
オ	SNS	22.1%	328
カ	医師・看護師	42.5%	630
キ	家族・友人	36.2%	536
その他		3.6%	53



その他(抜粋)

健康保険組合
AI
ラジオ

Q13 受診時や受診前に知っておくと良い知識や、受診前に必要な準備等について興味・関心はありますか？

【参考】

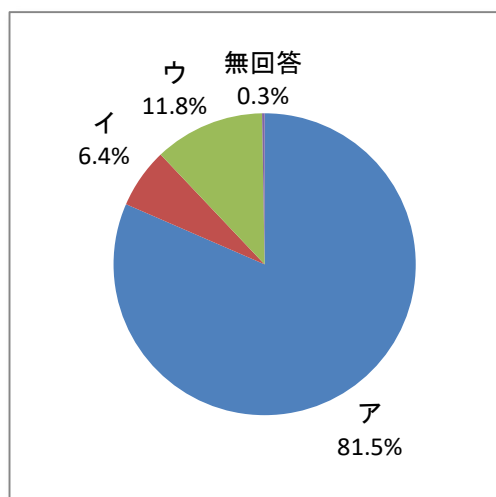
「知って得する！医療のしくみ」(横浜市ウェブページ)

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/iryo/anzenshien/iryoanzen/kakarikata.html>

(単一選択)

n = 1,481

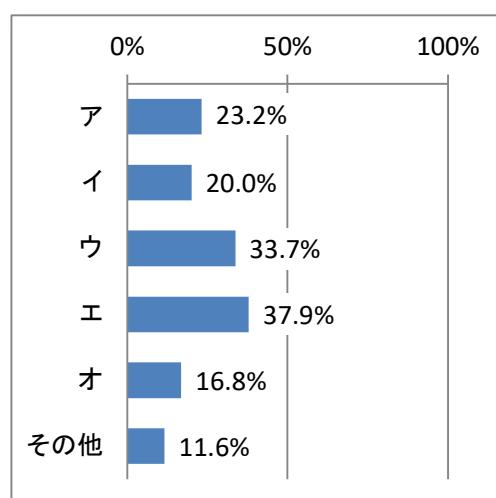
ア	ア 関心がある(Q15へ)	81.5%	1,207
イ	イ 関心がない(Q14へ)	6.4%	95
ウ	ウ わからない(Q15へ)	11.8%	175
無回答		0.3%	4
		100.0%	1,481



Q14 Q13で「イ 関心がない」と回答された方にお聞きします。
関心がない理由を選択してください。
(複数選択可)

n = 95

ア	健康に不安がないため、必要性を感じない	23.2%	22
イ	医療情報は難しく理解しづらいと感じる	20.0%	19
ウ	信頼できる情報源が分からない	33.7%	32
エ	医療は専門家に任せるべきだと思っている	37.9%	36
オ	興味のある分野ではない	16.8%	16
その他		11.6%	11



その他(抜粋)

自分が医療従事者なので、必要な時に調べたりする。

複数の病院に通院しており、特に問題を感じていない。

(抜粋)

食物アレルギー体質により、食事に困っており、外食時は特に困っています。また歳をとるごとに若い時と同じようなことができなくなっているのです、このような悩みを相談できる窓口などを知りたいです。

窓口で支払う金額の内訳が不明瞭です。

2か月毎に定期検診に通院していますが、「変わりありませんか？」言葉で始まり、「はい」「それでは」の会話で終わりです。5分間あるかないかです。同じ薬の処方せんを頂き、毎日生活しています。薬で生かされてる年金生活者にとっては2割の医療費が重くのしかかります。1割になれば有り難いです。

自分の知らない医療の情報をどこで手にいれればいいのか分らないです。インターネットで簡単に検索はできますが、それが正しい情報なのかは判断が難しいです。

かかりつけ医の定義がよくわかりません。持病があり、定期的に通院して検査を受けていますが、主治医は専門医なので、他の診療科にかかるべき内容であれば別のクリニックを探す必要があると思います。また、クリニックにかかるにも、何か症状が出ていないときは行きにくいと感じます。国はかかりつけ医を推奨していますが、どのようにしてかかりつけ医をみつければよいのか、本当に何でも気軽に相談できるのか、気がかりです。このような不安を解消するような情報を提供していただけると嬉しいです。

個々の定義ではなく、体系的なセミナーがあれば参加したいです。

専門用語をわかりやすく解説した情報を発信してほしいです。このアンケートでも、知らない事がたくさんあって不安になります。

どの診療科にかかればいいのかわからなくなることがあります。